



くるりのお便り

発行・編集

北区リサイクラー事業協同組合
TEL 03-3910-1290
Fax 03-3910-1263
〒114-0016
東京都北区上中里1-41-10

取り組みピックアップ

7月からJR東日本の一部の駅で着なくなった服を回収する実証実験が始まりました。

日々ごみとして捨てられる衣類の再利用を目的とするこの取り組み、持ち込める量に制限はあるものの（1日1人5着まで）、気軽に持ち込める場所としては、これ以上には無いのではと思います。

そのうち廃棄量は51.2万トン。
他はリサイクルやリユースされています。

日本人一人あたりが年間に購入する服は約18枚、手放す服は約12枚となっており、ファッションの短サイクル化、低価格化により多くの服を生み出し消費されています。

駅を訪れた人が次々と改札窓口の駅員に不要となった服を手渡ししており、無人受付ではないためリサイクル出来ない物をその場で断り、持ち帰り処分しているそうです。

今回はこのニュースから以下3点に注目したいと思います。

①日々ごみとして捨てられる衣類

一般家庭（1.75万トン）、事業所（3.6万トン）合計78.7万トンが使用後に手放されると推計されている（2020年）。

新しいものを買う前にクローゼットの中を思い出す…これも重要な取り組みです。

②気軽に持ち込める場所捨てるのはもったいない、またどこかで使ってくれるならと考え衣類のリサイクルに協力してくれる方は非常に多いです。

リサイクル活動に参加される方が排出しやすい環境を整えることがごみ減量・資源化に直結します。

③無人受付ではない対面での受付スパーなどは牛乳パックやプラスチックのトレイ、家電販売店ではインクカートリッジなど、衣類以外でも様々なリサイクル活動に参加できる持ち込み施設が増えています。

そこで問題となっているのが「ごみの混入」です。

店舗の外に専用のボックスが設置されそこに品物を入れる所が多いのですが、「ごみは入れないで！」の張り紙が目につきます。

牛乳パックでは最近飲

み口がプラスチックのもの、中がアルミコーティングされた物が増えています。

これは自治体のルールによってリサイクル出来ない物があり、間違っていると入ってしまう方がいるそうです。

資源の無料持ち込み施設が増える中、間違っていると入ってしまう方になってしまっているので、「これはごみに帰ってごみにして下さい」と説明するのも今後は重要な取り組みになります。

環境問題やごみ減量に積極的に取り組む事業者や、自治体にごみの処理費用を押し付けては絶対いけません。

今後くるりのお便りでは、最近注目されているリサイクルや環境への取り組みをピックアップしていききたいと思います。

（鰐淵雄一郎）

それいけ!北のらくん(138)



編集後記

雨の降る季節は、プリンスのパープルレイン（アルバム）を聞く。

今年は雨季短いと思ったけどどうでもなかったです。

（サクマ ダイスケ）



私たち人間にも朝から元気な人、夜から元気になる人がいると思います。

皆さんは暗黒バエというものをご存知ですか？

暗黒バエーそれは1954年から始まり2021年までの約67年間、京都大学で長年続けられている長期の暗黒が生物に与える影響を調べるための研究。

67年という数字を聞くだけでも壮大なストーリーを感じますが、進化が起きるのではなにかにより驚くのはそのハエの世代。

なんと約1500世代目という驚愕の数字になっております。

さてこの暗黒バエ、いったいどういった目的で始められたのでしょうか？

私たち地球上の生き物には太陽の日照時間によって生活リズムを変えている種が存在します。

端的に言えば昼行性と夜行性ですね。

ただ人間は昼行性なので、夜行性は生物学的には存在しないこととなっております。

しかし、そんな元々昼行性の人間を長期間暗黒という環境で生活させ続けたら、生活リズムに変化が起きるのではないのか？

それにとってもって夜行性らしく目が見えなくなり、かわりに耳が異常に発達したりする進化が起きるのではなにか？

分かりやすく人間で例えましたが、これが暗黒バエの研究目的なのです。

そしてこの研究、2000年に入ってから何度々研究成果の報告が上がっているのですが、外見上にも生活リズムにも変化は見られなかった。

これでは67年間という歳月はなんの意味もなかったのかと思われでしょう。

だが、違いはあった

（ヤング）

のです。

2012年になって約1400世代の暗黒バエの全ゲノムを解析したところ、5%ほどのゲノム変異を確認。

長きに渡る研究の成果は遺伝子レベルでの変異という形で表れたのでした。

みなさまはすぐに結果が見えないと嫌ですか？

でも世の中には時間をかけることでしか見えてこないこともあるのだと、この研究を通して痛感しました。

上手いかならないからといってすぐに諦める人、いるでしょうか？
かくいう私もそうです。

だけど、そのくらいがある方はもう少し続けてみるのもいいかもしれません。

この世の中、どんな形で結果に出るかわからないのですから。

次号（140号）の発行は

10月1日になります。

集団回収・事業系回収の
お問い合わせはこちらへ!

取り扱い品目	
新聞	雑誌・雑紙
段ボール	古布（古着）

バックナンバーのご要望等ありましたらご連絡ください。
ご意見、ご感想もお持ちしています!

北区リサイクラー事業協同組合
TEL 03-3910-1290/FAX 03-3910-1263

<http://www.kitaku-rila.jp>

粗大ごみの搬出・室内整理
遺品整理のサポートいたします

NPO法人 北くるり協議会

03-6903-5757